

---

## 西九州ルート of 整備促進にかかる決議

---

九州新幹線西九州ルートの新鳥栖～武雄温泉間については、昨年8月、与党整備新幹線建設推進プロジェクトチーム九州新幹線（西九州ルート）検討委員会から基本方針が示され、「フル規格により整備することが適当」と判断されるとともに、関係者である国土交通省・佐賀県・長崎県・JR九州の間で協議を行い、検討を深めていくべきとされたところである。

将来の西九州地域の姿を見据えると、新大阪まで直行でき、地域の発展に最も寄与するフル規格による整備こそが必要不可欠である。

政府・与党におかれては、西九州地域の産業振興や交流人口の拡大を図るため、同検討委員会が示した基本方針等を踏まえ、下記の事項について対応するよう強く要望する。

### 記

- 一 新鳥栖～武雄温泉間の整備方式に係る関係者間の協議を進展させ、整備効果が最も高く、西九州地域の発展に資するフル規格による整備の早期実現を図ること。また、西九州ルートへの直通運行も視野に入れたJR佐世保線の輸送改善に向けた支援を行うこと
- 一 関係者間の協議において、地方負担や並行在来線等の課題解決を図ること
- 一 暫定的な姿である武雄温泉駅での対面乗換を一刻も早く解消するため、早期に環境影響評価の調査に着手すること

以上、決議する。

令和2年6月5日

長崎新幹線・鉄道利用促進協議会

---

## 開業効果の波及・拡大に向けた決議

---

九州新幹線西九州ルートは、平成 24 年 6 月に武雄温泉～長崎間が認可され、現在、着実に工事が進められ、令和 4 年度の開業までおよそ 2 年と迫っており、長崎県のほか、沿線地域や島原半島地域、県北地域、離島地域の市町においても、開業に向けたアクションプランや行動計画が策定された。

新幹線の開業は、交流人口の拡大はもとより、沿線地域のみならず地域のまちづくりにとって大きな契機であり、その効果を最大限に高め、県内各地へ広く波及・拡大させていくためには、アクションプランや行動計画に基づき、官民一体となって、しっかりとした受け入れ体制を構築していくことが、極めて重要である。

西九州ルートについては、昭和 48 年の整備計画路線の決定から、およそ 50 年の年月を経て、開業を迎えることとなる。この間、多くの方々の尽力があって開業に至ることを忘れてはならず、そのような先人の方々のためにも、この開業を必ずや地域の活性化に結び付けなければならない。

そのため、開業までに万全の準備を整える必要があり、本協議会の会員それぞれが主体となって、お互いに連携し、知恵と力を合わせながら、取組を推進していくことを決議する。

令和 2 年 6 月 5 日

長崎新幹線・鉄道利用促進協議会